



# オーストラリア直送レポート

**Vol.2** 2018.8.13 緊張の初登校

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・井口  
吉備中学校・田中
- パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・松場  
八幡中学校・島田



## ドリップストーン校グループ

休日を2日挟んで、ついにドリップストーン校に登校する日がやってきました。私たちが、学校に到着すると、何人かの研修生がすでに登校していました。私たちが来たことに気づかないくらい、ホストファミリーとの生活を研修生同士で話しており、安心しました。特に体調を崩している研修生もおらず、ホストファミリーとの休日を楽しめた様子です。話を聞いていると、「家が大きくてプールがある」「ホストファミリーと仲良くなれた」「英語もだんだんと分かってきた」などの会話が聞こえてきました。その他にも、大きな滝を見に行ったり、ワニを見に行ったりとオーストラリアの自然を満喫している様子で、こちらが羨ましくなるほど、楽しい休日を過ごせたようです。8時30分に、全員がホストファミリーと一緒に登校しました。しばらくして、現地で担当をしてくださる先生より、9時から体育館でウエルカムアセンブリーが始まると案内がありました。ウエルカムアセンブリーでは、事前研修で練習を重ねた1分間スピーチと、日本文化を紹介するクイズを披露する予定です。時間が近づくにつれて、あれだけ楽しそうに休日のことを話していた顔が、だんだんと緊張の表情に変わりました。時間ギリギリまでメモを見て、練習している姿を見て、私まで緊張してしまいました。しばらくして、ウエルカムアセンブリーの行われる体育

館に行くと、多くのドリップストーン校の生徒が集まっていました。しばらくして、司会をしている現地の生徒からマイクを受け取り、一分間スピーチが始まりました。研修生たちは、事前研修での練習の成果を十分に発揮していました。事前研修では、単に作った英文を読んでいるだけの研修生が多かったのですが、今日は笑顔を交えて、自分の趣味や部活動などについて、全員に目線を配りながらスピーチをしていました。現地の生徒も、研修生が言ったことに反応してくれ、研修生たちもすごく嬉しそうな表情を浮かべていました。その後、日本文化を紹介するクイズを行いました。現地の生徒たちは、研修生たちが作成したスライドを見ながら、1問ごとに盛り上がり、楽しんでくれました。それを見て研修生たちも、すごく嬉しそうな表情をしていました。しかし、時間が無くなってしまい、全ての問題をすることができなかったのが残念でした。しかし、研修生たちは臨機応変に対応しており、頼もしいと思いました。その後、ドリップストーン校からお返しのバンド演奏があり、研修生たちは手拍子をしなが、演奏を聞いていました。その後、休憩を挿んで、現地の授業を体験しました。インドネシア語の授業では、ビンゴゲームをしました。出た数字をインドネシア語で読んでいくという授業でした。研修生たちは、今まで聞いたことのない言語に戸惑いながらも、しっかりと先生の言う言葉を聞いていました。その次に、体育と美術の2班に分かれ、授業を受けました。体育では、グラウンドでラクロスをしたり、体育館でしっぽ取りゲームやボール当てをしました。また、美術では、目の前にある葉っぱを見ながら、画用紙にその葉っぱを描くというものでした。学校の雰囲気慣れてきたのか、どの研修生も積極的に現地の生徒に話かけていました。特に、英語が伝わらないときは、身振り手振りを使って、必死に自分の思っていることを伝えようとしている姿が印象的でした。また、料理の授業では、現地の生徒と研修生が混ざってグループになり、クッキーを作りました。現地の生徒に教えてもらいながら、協力して作ることができました。焼きあがるまでの時間は、現地の生徒と話をしたり、一緒に写真を撮ったり、常にコミュニケーションを取っており、研修生たちの”現地の生徒と仲良くなりたい”という思いが伝わってきました。今日は、途中で体調が悪くなった研修生がいましたが、ドリップストーン校の先生や引率教師のサポートもあり、帰宅する頃には回復し、一安心しました。研修生たちには、今日のように、積極的にコミュニケーションをとる姿勢を忘れずに、残りの研修を過ごしてほしいと思います。その上では、健康面が非常に大切になってくると思います。しかし、日本での生活と違い、疲労も溜りやすくなっていると思います。研修生たちに、今しかできない貴重な体験をしてもらうために、引率者として一層気を引き締め、明日の学校に備えたいと思います。

(井口)



学校初日、みんなの自己紹介スピーチが素晴らしく、感動しました。集会の前にも、お互い英語を確認して、練習している様子がうれしかったです。準備をしてきたパワーポイントでの日本紹介クイズも大いに盛り上がり、みんなの努力が報われたこともよかったし反応を見ながら進行していく様子も格好良かったです。楽しく時間を過ごせたのでよかったですが、、時間が足りなくなってしまい、数問を残して終わることとなりました。少しかわいそうでしたが、切り替えて授業で頑張っていたので良かったです。アニメのクイズは特に大盛り上がりで、日本が誇る文化を確認できました。’’ とにかく友達を作りたい’’ と一生懸命話しかけたり、’’ とにかく理解したい’’ と授業で先生の指示に聞き入ったりしていることが、とてもうれしかったし、吉備中学校の代表になれていたかなと、自慢に思えました。明日からは、もっと自分で考え、すぐに動けることを努力目標として、伝えたいと思います。(田中)



## パーマストン校・ローズベリー校グループ



PS校登校初日を迎えました。猛暑が続く日本とはちがう涼しい朝です。天気は快晴。8時の生徒登校時間を前に早い目に学校に到着するともうすでに数名の生徒が登校していました。挨拶をして体調を確認すると元気な様子です。「マーケットに行ってお土産をいっぱい買った」「ワニのハンバーガーを食べた」等と、土日のホストファミリーと過ごした出来事を興奮気味に話してくれる生徒もいました。「ホストファミリーは優しい」「英語がわからん」などと話す生徒もいました。ひとまず研修生達が、元気でホストファミリーと上手くいっている事や、早速言葉や文化の違いを体験出来ているようで安心しました。しかし、気が緩んだのか、忘れものをしている研修生も



見受けられたので、気を引き締めるように促しました。授業開始の時間となりました。1時限目8:20-9:05、2時限目9:05-9:50、リセス9:50-10:20、3時限目10:20-11:05、4時限目11:05-11:50、5時限目11:50-12:35、ランチ12:35-13:05、6時限目13:05-13:50、7時限目13:50-14:35 現地学校スタッフから時間割の説明やグループ分けの説明があり内容を生徒に伝えます。授業開始の時間前になるとリラックスした表情が一変して皆緊張した表情になりました。3グループに分かれて授業に入りました。ドラマ、音楽、ダンス、数学、日本語などの授業にそれぞれ取り組みました。英語が分からないため悪戦苦闘しました。しかし中には辞書を片手に単語を調べ、また隣の生徒と話をする中でコミュニケーションをとってなんとか授業に参加しようとする様子が窺えました。リセスの時間には校庭で現地の子供たちとバスケットをしたり、写真を撮ったりする中で更に交流を深めました。10:20からの全校集会では800名程度の現地生徒の前で、事前研修で練習してきた英語による1分間スピーチとクイズショーを行いました。1分間スピーチは緊張した様子ももちろんありましたが、マイクを使い大きな声ではっきりとスピーチをすることができて大きな拍手をもらいました。また、クイズショーではパワーポイントを駆使してO×クイズをやり遂げることができて現地生徒や先生方から大きな歓声と拍手をいただく事が出来ました。発表をやり遂げた生徒たちの表情からは満足感と達成感、そして安心感を感じました。その後のランチタイムでは先ほどの自己紹介に興味を示した現地生徒たちが近寄ってきました。日本から持ってきたプレゼントを渡したり一緒に写真を撮ったり楽しい時間をすごすことができました。午後の2時限もグループに分かれて参加して無事に1日目の学校を終えることができました。研修生達は、英語が分からない中でも、ランチタイムなどで仲良くなったPS校生徒と共に授業に参加していました。まだ、授業を見学している私たちに、「これなにやってんの」「英語がわからん教えて…」などと聞きにくることもありますが、研修生生徒それぞれのペースで、オーストラリアでの生活に順応しているように感じました。明日は、校外学習で1日外で過ごす予定です。朝の涼しい時間帯と昼間は暑い日差しが容赦なく照り続けるオーストラリアの気候です。生徒一人ひとりの体調に気を付けたいと思います。今日よりも多くのコミュニケーションをはかり、多くの経験をしてくれることを望みます。(松場)



今日は1日、パーストンカレッジ(日本の中学1年生~3年生までの生徒がいて今までローズベリー・ミドルスクールと呼ばれていました)こちらでの学校生活初日です。14名全員、元気に登校できてひと安心。週末ホストファミリーと過ごした様子や買ってきたお土産の話をしてほしくくれました。スタートからいきなり2時間授業。その後休憩をはさんで集会。今までたくさん練習してきた自己紹介と日本のクイズショーを体育館いっぱいに入った生徒や先生方(たぶん800人くらいいたのでは?)の前で披

露しました。練習してきたかいあって会場は大盛況。研修生も大満足でした。その後もダンスや音楽、ドラマ、日本語の授業にもとても意欲的に取り組めていました。大休憩やランチタイムにはカフェテリアでの注文も体験しパーマストンの生徒たちとバスケットをしたり雑談したり、写真を撮ったり楽しく過ごす様子がとても印象的でした。1日の予定を無事終了するとみんな元気に迎えに来てくださったホストファミリーのもとに帰っていきました。実にいいスタートをきったと思います。明日からも楽しみです。(島田)